

第1回 近現代建築アーカイブズ講習会

趣旨

我が国の近現代建築は世界の文化芸術の重要な一翼を担う存在となっており、その学術的・歴史的価値を継承する近現代建築資料の重要性に対する認識も高まりつつある。一方で、近現代建築資料に関する適切な管理方法について技能を包括的に習得する場は設けられていない。このような状況に対し、唯一の近現代建築資料に特化した国立のアーカイブズ機関として、近現代建築資料の収集・整理・保存・利用等に関する専門的知識・技能の普及のための講習会を開催する。

主催 文化庁国立近現代建築資料館

会場 文化庁国立近現代建築資料館 会議室（予定）

住所 東京都文京区湯島 4-6-15（JR 御徒町駅もしくはメトロ湯島駅から徒歩 10 分程度）

日時 2019 年 6 月 25 日（火） 10:30 -17:40（昼休憩 13:00-1400）

対象者

近現代建築資料を所蔵する組織に所属する方。近現代建築資料の整理・保管に携わる予定のある方。

講習内容

1. アーカイブズの歴史・アーキビストの使命と役割 10:30-12:00（質疑応答 10 分含む）

世界の文書館システムの発展・歴史と現状、アーカイブズの専門職であるアーキビストの使命と具体的な役割について学ぶ。

講師：森本祥子（東京大学文書館准教授）

2. 近現代建築アーカイブズの概要 (1)12:10-13:00、(2)14:00-14:50（質疑応答 10 分含む）

近現代建築資料の価値と保存の意義、日本における近現代建築資料保存の歴史と現状について学ぶ。

講師：山崎鯛介（日本建築学会建築博物館委員会委員長）、齋藤歩（京都大学総合博物館特定助教）

3. 近現代建築アーカイブズの管理（整理・目録編成） 15:00-16:40

（報告 20 分×4+ディスカッション 20 分）

近現代建築資料の具体的な整理、目録編成、保管方法について学ぶ。

講師：山崎幹泰（金沢工業大学教授）、三宅拓也（京都工芸繊維大学助教）、齋藤歩、建築資料館

4. 近現代建築アーカイブズの活用 16:50-17:40（質疑応答 10 分含む）

近現代建築資料の公開・教育利用・展示・出版などの活用事例を学ぶ。

講師：松隈洋（京都工芸繊維大学教授）